

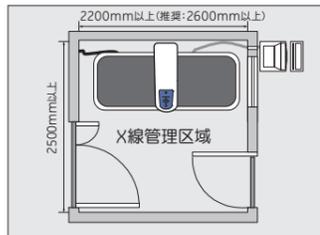


GE Healthcare

Specifications

デュアルX線発生方式	Kエッジフィルター方式
X線ピークエネルギー	35.1/60.5KeV
X線管	管電圧:76KV 管電流:0.15~1mA
検出器	LYSOシンチレータ(6素子)
スキャン方式	鋭角ファンビーム/SmartScan™方式
焦点検出器間距離	67cm
焦点皮膚間距離	20cm
有効スキャンエリア	80cm×42cm
本体寸法・重量	200(W)×80(D)×130(H)cm、165kg
標準構成	65cm(テーブルトップまでの高さ) スキャンテーブル、本体付属品、コンピュータ本体、LCDモニター、キーボード、マウス、プリンタ、 OAラック、外付けバックアップドライブ
設置条件	(X線管理区域内) 電源:100V AC50/60Hz、600VA

設置例



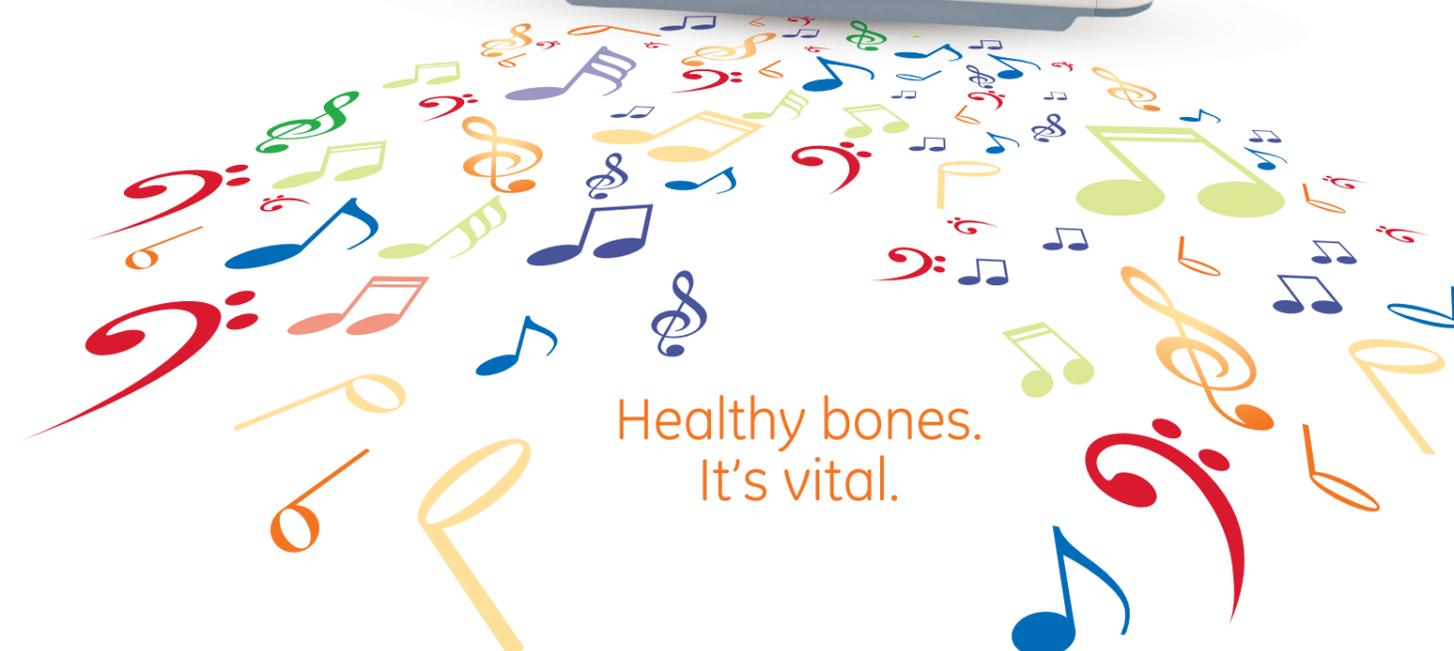
測定領域	測定モード	測定時間*	患者被ばく量*
腰椎正面	標準	60秒	0.022mGy
大腿骨	標準	60秒	0.022mGy
前腕骨	標準	50秒	0.003mGy

*測定モード、測定領域によって異なります。
また、患者被ばく量は入射線量です。



Chorale DXA system

Better bone health for more people.



Healthy bones.
It's vital.

Imagination at work

GEヘルスケア・ジャパン
カスタマー・コールセンター 0120-202-021
www.gehealthcare.co.jp

製造販売元 GEヘルスケア・ジャパン株式会社
販売名称 X線骨密度測定装置 Chorale
医療機器認証番号 228ABBZX00009000号

記載内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。
©2015 General Electric Company - All rights reserved
Printed in Japan
Rev.1.0 2016/5 6E-AK-C1(KM-KM) Bulletin L5A12 JB39811JA



コンパクトDXAでより確かな診断へ

GE DXA Chorale X線骨密度測定装置



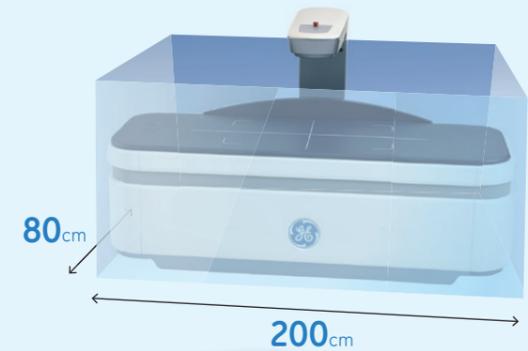
単旋律の讃美歌を奏できるように測定する それがChorale

Chorale(コラール)は骨密度の腰椎・大腿骨測定に特化したコンパクト装置として誕生しました。余計な機能を排し、必要な機能を凝縮したシンプルな装置。簡単な旋律の讃美歌(コラール)を奏するような装置あることから命名しました。Choraleは小さなボディで骨粗鬆症診断に大きく貢献します。



求めているのはスリムさ 一般撮影室で併用できるサイズの装置

Choraleはベッド一体型DXA装置としては最もスリムな奥行80cmを実現。X線一般撮影装置と共に設置し、無理のない運用が可能なサイズを目指しました。



検査開始からレポートアウトまで ワークフローもスマート

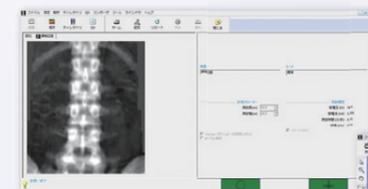
Choraleは短時間且つ簡単に操作が行える機能で測定をサポートします。

OneScan

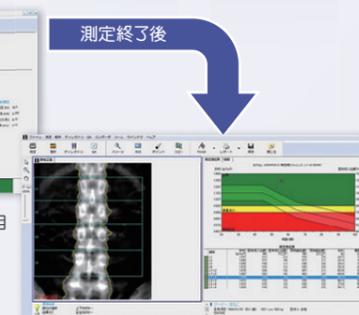
OneScanは最初から脚を下げて腰椎を測定し、ポジション変更せずに大腿骨を測定する画期的な技術です。



オート解析



オート解析機能は測定終了後、直ちに自動的に解析を行い結果を表示します。



OneReport

OneReport機能は腰椎と大腿骨の結果を1枚のレポートにまとめ、患者様に分かりやすい形でお見せすることができます。



いつまでも続く笑顔を患者様に届けたい

患者様が寝たきりになることを防ぎ、ご家族と豊かな生活を続けられるようにしたい...それが私たちのささやかな願いです。骨粗鬆症の診断と治療には腰椎と大腿骨近位部のDXA測定が推奨されており※、Choraleはそれが実現できる小型DXA装置です。

※骨粗鬆症予防と治療ガイドライン2015年版の記載内容に因ります

